

イタリアにある世界遺産一覧

(ヴァティカン市国^{*}、サンマリノ共和国^{**}、及び共同登録^{***}を含む)

- 1 ピエモンテとロンバルディアのサクリ・モンティ
Sacri Monti di Piemonte e Lombardia
- 2 サヴォイア王家の王宮群
Residenze Sabaude
- 3 ピエモンテの葡萄畠の景観：ランゲ・ロエロ・モンフェッラート
I paesaggi vitivinicoli del Piemonte: Langhe-Roero e Monferrato
- 4 ヴァル・カモニカの岩絵群 Arte rupestre della Valcamonica
- 5 クレスピ・ダッダ Crespi d'Adda
- 6 レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」がある
サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会とドメニコ会修道院
La chiesa ed il convento domenicano di Santa Maria delle Grazie con "La cena" di Leonardo Da Vinci
- 7 マントヴァとサッピオネータ Mantova e Sabbioneta
- 8 レーディック・ユーロ鉄道アルプス線／ベルニナ線と周辺の景観 ***
La Ferrovia Retica nel paesaggio dell'Albula e della Bernina
- 9 サン・ジョルジョ山 *** Monte San Giorgio
- 10 イタリアのロンゴバルド族：権勢の足跡 (568-774年)
I Longobardi in Italia. I luoghi del potere (568-774 dC)
- 11 アルプス山脈周辺の先史時代の杭上家屋群 ***
Siti palafitticoli preistorici dell'arco alpino
- 12 ドロミーティ Le Dolomiti
- 13 ヴェネツィアとその潟 Venezia e la sua Laguna
- 14 ヴェローナ市 Verona
- 15 ヴィチェンツァ市街とヴェネト地方のパッラーディオ様式の邸宅群
Vicenza e le Ville del Palladio nel Veneto
- 16 パドヴァの植物園（オルト・ボタニコ）Orto Botanico di Padova
- 17 アクイレイアの遺跡地域と総主教聖堂バジリカ
Area archeologica di Aquileia e Basilica Patriarcale
- 18 ジエノヴァ：“レ・ストラーダ・ヌオーヴェ”と“パラッツィ・ディ・ロッリ”
Genova: Le Strade Nuove ed il sistema dei Palazzi dei Rolli
- 19 ポルトヴェーネーレ、チンクエテッレと小島群
Portovenere, Cinque Terre e Isole Palmaria, Tino e Tinetto
- 20 ラヴェンナの初期キリスト教建築物群
Monumenti paleocristiani di Ravenna
- 21 フェッラーラ：ルネサンス期の市街とポー川デルタ地帯
Ferrara città del Rinascimento e il suo delta del Po
- 22 モデナの大聖堂、トッレ・チヴィカとグランデ広場
Modena: Cattedrale, Torre Civica e Piazza Grande
- 23 サンマリノ歴史地区とティターノ山 ***
Centro Storico di San Marino e il Monte Titano
- 24 フィレンツェ歴史地区 Centro storico di Firenze
- 25 ピサのドゥオモ広場 La piazza del Duomo di Pisa
- 26 シエナ歴史地区 Centro storico di Siena
- 27 サン・ジミニャーノ歴史地区 Centro storico di San Gimignano
- 28 ピエンツァ市街の歴史地区 Centro storico della città di Pienza
- 29 ヴァル・ドルチャ（オルチャ渓谷）Val d'Orcia
- 30 メディチ家の館と庭園 Villa e Giardini Medicei
- 31 ウルビーノ歴史地区 Centro storico di Urbino
- 32 アッシジ：聖フランチェスコ聖堂と隣接遺跡群
Assisi, la Basilica di San Francesco e altri siti francescani
- 33 ローマ歴史地区：教皇領とサン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ大聖堂 ***
Centro storico di Roma, le proprietà extraterritoriali della Santa Sede nella città e San Paolo fuori le Mura
- 34 ヴィッラ・アドリアーナ Tivoli, Villa Adriana
- 35 ティヴォリのヴィッラ・デステ（エステ別荘）Tivoli, Villa d'Este
- 36 チェルヴェテリとタルクィニアのエトルリア古墳（ネクロポリ）
Le necropoli etrusche di Cerveteri e Tarquinia
- 37 ヴァティカン市国 * La Città del Vaticano
- 38 ナポリ歴史地区 Centro storico di Napoli
- 39 ポンペイ、エルコラーノ、トッレ・アヌンツィアータの遺跡地帯
Aree archeologiche di Pompei, Ercolano e Torre Annunziata
- 40 アマルフィ海岸 Costiera Amalfitana
- 41 カゼルタの18世紀の王宮と公園
Villa d'Este e il parco di Caserta con il Parco, l'Acquedotto Vanvitelliano ed il Complesso di San Leucio
- 42 パエストゥムとヴェリア古代遺跡群を含むチレント、ディアノ渓谷国立公園とパドウーラのカルトジオ修道院
Parco Nazionale del Cilento e del Vallo di Diano con i siti archeologici di Paestum e Velia e la Certosa di Padula
- 43 アルベロベッロのトルレッリ Trulli di Alberobello
- 44 カステル・デルモンテ（デルモンテ城）Castel del Monte
- 45 マテーラの洞窟住居と岩窟教会公園
I Sassi e il parco delle Chiese rupestri di Matera
- 46 アグリジェントの遺跡地帯
Area archeologica di Agrigento
- 47 ヴィッラ・ロマーナ・デル・カサーレ（カサーレ墓）
Piazza Armerina, villa romana del Casale
- 48 シラクーサとパンタリカ岩壁墓地遺跡
Siracusa e le necropoli rupestri di Pantalica
- 49 ヴァル・ディ・ノートの後期バロック様式の町々（シチリア島南東部）
Le città baroniche della Val di Noto
- 50 エトナ山 Monte Etna
- 51 エオリエ諸島 Isole Eolie
- 52 スーナラージ・ディ・バルミニ Su Nuraxi di Barumini

made in Italy

イタリアの世界遺産

UNESCO World Heritage in Italy



イタリア政府観光局(ENIT)
Italian State Tourism Board - ENIT
visititaly.jp

北イタリア



Nord Italia

①ピエモンテとロンバルディアのサクリ・モンティ

Sacri Monti di Piemonte e Lombardia (文化遺産・2003年登録)

「サクリ・モンティ」とは「サクロ・モンテ」の複数形で、「聖なる山」を意味しています。16世紀後半から17世紀にかけてオスマントルコの脅威でエルサレムに巡礼に行けないキリスト教信者の巡礼のため、山に数多くの礼拝堂や聖堂が建てられました。キリスト受難の追体験ができる劇的空間のヴァラッロ・セジアのサクロモンテ、聖フランチスコの生涯を再現するオルタ・サン・ジュリオの礼拝堂群他、登録された北イタリア9箇所のサクロ・モンテはどれも参拏地として神聖な雰囲気をもつていています。丘、森、湖といった自然環境と建築物群が美しく調和し、建物内部の宗教壁画、木彫、塑像の芸術性も大変高い、建築・芸術と自然を見事に融合させた成功例です。

★ヴァラッロ・セジア／ミラノの北西100km、★クレア／トリノの東60km、★オルタ・サン・ジュリオ／ストレーザの南西28km、★オーラーバ／ピエッラの北西13km、★ギッファ／ストレーザの北22km、★ドモドッソラ／ストレーザの北西32km、★ヴァルベルガ／トリノの北38km(以上7箇所:ピエモンテ州)

★ヴァレーゼ／ミラノの北56km、★オッソッショ／コモの北26km(以上2箇所:ロンバルディア州)

④ヴァル・カモニカの岩絵群

Arte rupestre della Valcamonica (文化遺産・1979年登録)

先史時代に遡る約8000年間に岩石に刻まれた貴重な「線刻画」が、カモニカ渓谷一帯に残っています。岩に刻まれた14万以上の絵柄には農耕、航海、戦い、魔術など当時の生活が描かれています。これらの岩絵はカボ・ディ・ポンテにある国立ナウアネ岩壁彫刻公園や、ナドロ、ルイネ等のカモニカ渓谷の何箇所かの自然公園の中で見ることができます。

★カモニカ渓谷一帯(ロンバルディア州)カボ・ディ・ポンテはブレシャの北約80km。

⑤クレスピ・ダッダ

Crespi d'Adda (文化遺産・1995年登録)

「クレスピ・ダッダ」は産業革命期19～20世紀初頭に啓蒙的企业家クレスピが、自分の工場労働者とその家族のためにアッパ川のほとりの所有地内に造った「企業村」。紡績工場と道をへだてて労働者用の家、学校、病院、教会等を建て、当時の労働者にとってはモダンな理想郷ともいえる画期的な環境を整えました。工場はすでに閉鎖されていますが、今も工場跡やクレスピの城、社宅だった建物がそのまま残っています。工場を軸とした当時のコミュニティ集合体の面影を残しています。

★カブリアーテ・サン・ジェルヴァシオ(ロンバルディア州)ベルガモの南西15km。

⑩アルプス山脈周辺の先史時代の杭上家屋群***

Siti palafitticoli preistorici dell'arco alpino (文化遺産・2011年登録)



イタリア他スイス、ドイツ、オーストリア、フランス、スロヴェニアにまたがる共同登録で、登録された全111か所のうち、イタリアの遺跡数は北部に点在する19か所。紀元前5000～500年にかけてアルプス山脈周辺の湖畔・川辺に造られていました。この遺跡は古代の農耕生活や文化を伝えます。

今回登録された国の中でも、イタリアが一番古く、ヴァレゼ湖畔の杭上家屋は新石器時代の紀元前5000年前に遡ります。その後盛んになったのは青銅器時代の紀元前2200～1400年の頃で、ガルダ湖畔では30以上の集落が集中していました。またトレントino地方やピエモンテ州の小さな湖、ボーラ流域平野やフリウリ地方の山の麓でも杭上家屋跡が発見されています。レドロのよう

に湖杭上家屋群博物館として当時の様子が再現されている場所もあり、湖を前にした自然の中に、当時の面影と雰囲気が重なります。

★イタリア国内で登録された19か所の考古学エリアはロンバルディア州(セツィアーノ・デル・ガルダ、ベスキラ・デル・ガルダ)、ヴェネト州、ピエモンテ州、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州、トレントino・アルト・アディジエ州(レドロ他)の5つの州に点在しています。

⑫ドロミーティ

Le Dolomiti (自然遺産・2009年登録)

「ドロミーティ」は日本では長年「ドロミテ」とも呼ばれて親しまれている北イタリアの山群。氷河のある最高峰のマルモラーダ山Marmolada(標高3,342m)をはじめ、3,000mを超える山が18峰あり、尖塔のようにつきでた尖峰や岩壁、氷河やカルスト系の地盤などその見事な景観で有名。山の絶景を楽しみながらのハイキング、スキーなども楽しめます。激しい地殻変動の特徴がみられる世界遺産指定の9地域は地形学的、地質学的にも大変重要です。

★ベルモ、クローダ・ダ・ラーゴ(ヴェネト州)

★マルモラーダ(トレントino・アルト・アディジエ州)とヴェネト州

★サン・マルティーノ・サン・ルカーノ連山、ドロミーティ・ペッルネージ、フェルトレ連山(トレントino・アルト・アディジエ州とヴェネト州)

★ドロミーティ・フリウラーネ及びドルトレ・ビアーヴェ(フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州とヴェネト州)

★北ドロミーティ・カドリーネ、セッタウサス(トレントino・アルト・アディジエ州とヴェネト州)(以下全てトレントino・アルト・アディジエ州) ★エツ・オードレ ★シリアル・カネナッショ

★リオ・デッレ・フォリエ ★ドロミーティ・ブレンタ

以上の山々を訪れる観光の玄関口・宿泊先となる村や街:ヴェネト州のコルティナ・ダンペッツォ(ヴェネツィアの北177km)、トレントino・アルト・アディジエ州のボルツァーノ(ヴェローナの北154km)、カナツエイ、コルヴァラ、オルティセイなど。



⑥レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」があるサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会とドメニコ会修道院

La chiesa ed il convento domenicano di Santa Maria delle Grazie con "La cena" di Leonardo Da Vinci (文化遺産・1980年登録)

サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会に隣接するドメニコ会修道院の食堂に亘るレオナルド・ダ・ヴィンチが1495年から1497年にかけて描いたフレスコ画「最後の晩餐」は、芸術史上新しい時代を開いた重要な作品。ダ・ヴィンチが12人の弟子の中に自分を裏切るものかいることを告げた直後の場面が、劇的に描かれており、様々なシンボルが絵の中に隠されていると言われば、更なる奥深い宗教的な意義を暗示されています。(人數制限と入替で絵画の保存に努めており、拝観は予約制。)

★ミラノ(ロンバルディア州)。

⑪アルプス山脈周辺の先史時代の杭上家屋群***

Siti palafitticoli preistorici dell'arco alpino (文化遺産・2011年登録)

イタリア他スイス、ドイツ、オーストリア、フランス、スロヴェニアにまたがる共同登録で、登録された全111か所のうち、イタリアの遺跡数は北部に点在する19か所。紀元前5000～500年にかけてアルプス山脈周辺の湖畔・川辺に造られていました。この遺跡は古代の農耕生活や文化を伝えます。

今回登録された国の中でも、イタリアが一番古く、ヴァレゼ湖畔の杭上家屋は新石器時代の紀元前5000年前に遡ります。その後盛んになったのは青銅器時代の紀元前2200～1400年の頃で、ガルダ湖畔では30以上の集落が集中していました。またトレントino地方やピエモンテ州の小さな湖、ボーラ流域平野やフリウリ地方の山の麓でも杭上家屋跡が発見されています。レドロのよう

に湖杭上家屋群博物館として当時の様子が再現されている場所もあり、湖を前にした自然の中に、当時の面影と雰囲気が重なります。

★イタリア国内で登録された19か所の考古学エリアはロンバルディア州(セツィアーノ・デル・ガルダ、ベスキラ・デル・ガルダ)、ヴェネト州、ピエモンテ州、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州、トレントino・アルト・アディジエ州(レドロ他)の5つの州に点在しています。

⑭ヴェローナ市

Verona (文化遺産・2000年登録)



歴史的都市ヴェローナは紀元前1世紀に誕生し、13～14世紀にはスカラ家統治下、15～18世紀にはヴェネツィア共和国の一部として栄えました。古代ローマ時代の円形闘技場アレーナや、中世の城カステル・ヴェッキオやラジョーネ宮殿(コムーネ宮)、ルネサンス期の建築物等を多く今に残しています。多くの教会群も素晴らしいサン・ゼーノ教会、大聖堂はロマネスク様式を残し、内部装飾・建築はシンプルながら大変重みがあります。ローマとユリエットの舞台ともなっている美しい街はまた、芸術をとりいれながら要塞都市として2000年に渡りたゆまず発展し続けた好例でもあります。

★ヴェローナ(ヴェネト州)ヴェネツィアの西114km。

⑯ヴィ琴ツィア市街とヴェネト地方のパッラーディオ様式の邸宅群

Vicenza e le Ville del Palladio nel Veneto (文化遺産・1994、1996年登録)

ヴィ琴ツィアは15～18世紀にヴェネツィア共和国統治下で繁栄。16世紀には建築家アンドレ・パッラーディオが活躍し、古典的ローマ様式をとりいたす壯麗な建築物で街に独自の景観をもたらしました。ヴィ琴ツィア市内に残るパッラーディオの建築物等を23の建物の他、「ラ・ロントダ」をはじめとするパッラーディオの建てた優雅なヴィラ(邸宅)がヴェネト州内の各地に点在しています。彼の作品に影響を受けた「パラディアン様式」の建築スタイルは英國、欧洲各国や北米にまで広まり影響を与えました。

★ヴィ琴ツィア(ヴェネト州)ヴェネツィアの西北68km及びヴェネト州内の数箇所。

〒108-8302 東京都港区三田2-5-4 イタリア大使館内

TEL: 03-3451-2721

FAX: 03-3451-2724

©イタリア政府観光局(ENIT) *情報は一部を除き2014年9月現在 写真: Fototeca ENIT 他

日本語公式サイト visititaly.jp



イタリア政府観光局(ENIT)
Italian State Tourism Board (ENIT)

②サヴォイア王家の王宮群

Residenze Savoie (文化遺産・1997年登録)

16世紀末トリノをサヴォイア公国の都としたエマヌエーレ・フィリベルト公の命で、都市計画に基づき華麗な建物群が建設されました。当時の著名建築家ウバッラ他多くの芸術家達が手がけた宮殿・城・居城の数々は、19世紀にイタリア王となつたサヴォイア家の栄華と権勢を世に知らしめました。トリノを中心の王宮、マダマ宮殿や郊外のストウビニージ狩獵宮殿、リヴオリ宮殿、ヴェナリア宮殿等は、博物館などとして活用されており、豪華な調度品や内部装飾、庭園などを見学することができます。

★トリノとその周辺(ピエモンテ州)ミラノの西南約140km。

③ピエモンテの葡萄畑の景観:ランゲ・ロエロ・モンフェラート

I paesaggi vitivinicoli del Piemonte: Langhe-Roero e Monferrato (文化遺産・2014年登録)

この登録「ピエモンテの葡萄畑の景観:ランゲ・ロエロ・モンフェラート」には、すばらしい景観が広がるワイン産地5地区(パローロのランガ地区、パリバレスコの丘陵地、ニツツァ・モンフェラートとバリベーラ、カネッリ村とアスティ・スブマンテ、インフェルノットのモンフェラート)と、葡萄栽培の発展においても、またイタリア史でも重要な場所であるグリンザーネ・カヴァーレ城が含まれました。エリア全体は、北はボーラ河、南はリグリア・アルプスの中間地域である南部ピエモンテ州に位置し、何世紀にも渡りこの地域を特徴付けてきた葡萄栽培とワインづくりに関する、技術的、経済的プロセス全般が包括されています。この地のワインとの関わりは、ピエモンテがエトリア人とケルト人の交流・交易地だった紀元前5世紀頃に遡り、古代ローマ帝国時代の有縁者達も、葡萄栽培に適したこの地の樽について述べています。美しい葡萄畑の景観だけでなく、ワイン文化史に関わる建物や貯蔵庫などにもふることができます。

★パローロ/トリノの南72km、★グリンザーネ・カヴァーレ城/トリノの南東74km、★パルバレスコ/トリノの南東57km、★アスティの南西28km、★ニツツァ・モンフェラート/トリノの南東82kmでアスティの南東28km、★カマーニャ・モンフェラート/トリノの東85km。

④レーティッシュ鉄道アルプラ線/ベルニナ線と周辺の景観***

La Ferrovia Retica nel paesaggio dell'Albula e della Bernina (文化遺産・2008年登録)

イタリアのティラーノと、スイスのサン・モリツを結ぶレーティッシュ鉄道ベルニナ線、そして同鉄道アルプラ線は、数々の橋やトンネル、名峰や氷河など絶景を楽しめる歴史と伝統あるスイスの人気山岳鐵道路線。始発・終着駅となるのはイタリア側のティラーノの街。美しいルネサンス様式のマドンナ聖堂などの真近を列車は路面鉄道となって走り抜けていきます。

★ティラーノ(ロンバルディア州)ミラノの北東164km。

⑩イタリアのロンゴパルド族:権勢の足跡(568-774年)

I Longobardi in Italia I luoghi del potere (568-774 dC) (文化遺産・2011年登録)

ロンゴパルド王国(イタリア語の音訛。ランゴパルド王国ともいわれる)は、568年ガルマン系ロンゴパルド族により建国され6～8世紀にイタリア半島を広く統治し独特の文化を発展させた後、774年カール大帝により滅ぼされました。そのロンゴパルド王国の重要な権勢の足跡を示す7地域の要塞、教会、修道院などの建物が2011年に世界遺産として登録されました。

ロンゴパルド族はイタリアに定住すると、古代ローマの伝統様式やキリスト教の精神性、ビザンティン文化の影響などを吸收、同化し自らのゲルマン的価値と融合させ、7世紀末から8世紀にかけて新しい独自の文化を生み出しました。

その後カール大帝に受け継がれ、古代世界から中世ヨーロッパへの形成に寄与し、その後の千年にわたる西洋史に大きな影響を及ぼしました。

この登録による文化財はイタリア各地7か所にあり、『ロンゴパルドのテンピエット』『サン・サルバトーレ・サンタ・ジュリア修道院』(現在博物館)、『サン・ソフィア教会』『サン・ミケーレ聖所記念堂』など何処も見えたえあります。

★『コゴパルドのテンピエット』『カリスト教が整備した教会関連施設群』『国立考古学博物館所蔵ロンゴパルド族副葬品』所在地:チヴィダーレ・デル・フリウリ(フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州)ウーディネの東16km、トリエステの北西65km

★『サン・サルバトーレ=サンタ・ジュリア修道院』所在地:ブレシャ(ロンバルディア州)ミラノの東93km ヴェローナの東66km

★カステルセブリオとトルバの『カストラム(要塞地区)』所在地:カステルセブリオ・トルバ(ロンバルディア州)ヴァレーナの南14km

★クリトゥンの『テンピエット』所在地:カンベッコ・スル・クリトゥン(中部イタリア参照)

★スボレートの『サン・サルバトーレ聖堂

中部イタリア

Centro Italia



②サン・ジミニャーノ歴史地区

Centro storico di San Gimignano (文化遺産・1990年登録)



★サン・ジミニャーノ(トスカーナ州) フィレンツェの南57km。

②ピエンツァ市街の歴史地区

Centro storico della città di Pienza (文化遺産・1996年登録)



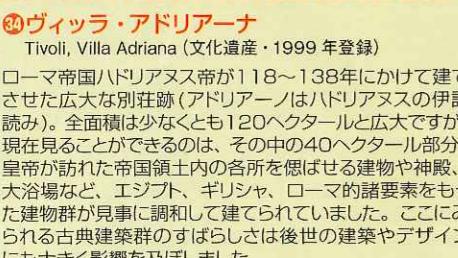
②ヴァル・ドルチャ(オルチャ渓谷)

Val d'Orcia (文化遺産・2004年登録)



④ヴィッラ・アドリアーナ

Tivoli, Villa Adriana (文化遺産・1999年登録)



⑤ティヴォリのヴィッラ・デステ(エステ家別荘)

Tivoli, Villa d'Este (文化遺産・2001年登録)



★ティヴォリ(ラツィオ州) ローマの東約30km。

②サンマリノ歴史地区とティターノ山**

Centro Storico di San Marino e il Monte Titano
(サンマリノ共和国/文化遺産・2008年登録)

ヴァティカン市国と並び、イタリア内に位置する独立国家サンマリノ共和国。13世紀に共和国を設立し、自由共和国としての政体を中世から今に継続しています。首都サンマリノの歴史地区を含む55ヘクタールの範囲が世界遺産に登録されています。サンマリノ歴史地区には要塞の塔、城壁、門、防御壁、19世紀の新古典様式の聖堂や庁舎、14~16世紀の修道院、18世紀のティターノ劇場等があります。今も市民が居住する歴史地区は国の機能が集中する政治中枢でもあり、せり立つティターノ山上に位置することから、産業発展による今日の都市化の影響を受けず中世の街並みが保存されています。

★サンマリノ(サンマリノ共和国) ポローニャの南東135km、リミニの南西22km。

④フィレンツェ歴史地区

Centro storico di Firenze (文化遺産・1982年登録)

ルネサンスのシンボルともいえるフィレンツェの街は、メディチ家統治の下、15~16世紀に経済・文化的繁栄を謳歌していました。13世紀のサンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂やサンタ・クローチ教会、ウッフィツィ美術館、ピッティ宮殿、またジオット、ブルネッスキ、ボッティチエリ、ミケランジェロといった大芸術家達の貴重な名作の数々は600年の時を経て今なおこの街に残されています。芸術振興・保護活動の精神は今も生きおり、街全体がひとつの大きな美術館のような美しさをたたえ、人々を魅了します。

★フィレンツェ(トスカーナ州) ローマの北277km。

②ピサのドゥオモ広場

La piazza del Duomo di Pisa (文化遺産・1987年登録)

縁あふれるドゥオーモ広場には、大聖堂ドゥオーモ、洗礼堂、「ピサの斜塔」そして世界的に有名な鐘楼、そして墓地の4つの中世の建物が見事に調和して建っています。その建築美は11世紀から14世紀にかけてイタリアの建築芸術に大きな影響を及ぼしたといわれています。★ピサ(トスカーナ州) フィレンツェの西77km。

②シエナ歴史地区

Centro storico di Siena (文化遺産・1995年登録)

中世そのものの街並みが残るシエナ。当時はフィレンツェと競い、都市計画にも力をいれました。街は12~15世紀にかけて整ったゴシック風外観を保っており、同時にシエナで活躍したドウッチョ、コレントツィッティ兄弟、シモーネ・マルティーニ等の芸術家の作品はイタリア国内のみならずヨーロッパ各国にも影響を及ぼしました。世界一美しいといわれる扇の形をしたカンポ広場はそれ自体が芸術作品ともいわれる程で、この広場を中心とする街並みは周囲の自然とも美しい調和をみせています。また毎年7月2日と8月16日に開催されるパリオというお祭りは、シエナの重要な伝統行事となっています。

★シエナ(トスカーナ州) フィレンツェの南68km。

南イタリア

Sud Italia



①カゼルタの18世紀の王宮と公園、ヴァンヴィテッリの水道橋とサン・レウチョ邸宅群

Il Palazzo Reale del XVIII secolo di Caserta con il Parco, l'Acquedotto Vanvitelliano ed il Complesso di San Leucio (文化遺産・1997年登録)

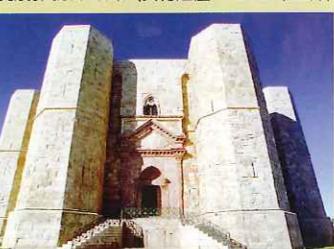
18世紀当時のナポリ王、ブルボン家のカルロ3世がベルサイユを凌ぐ宮殿をめざしてカゼルタに建設した王宮は、劇場、礼拝堂、博物館、1200もの部屋がある巨大で壯麗な建物、また120ヘクタールの庭園は、中央をまっすぐ走る3kmの道、滝、ギリシャ神話の彫刻噴水群を配し、周囲の森林とあいまって華麗で洗練された芸術作品のようです。建築家ヴァンヴィテッリは庭園の水を供給するため、古代ローマ風の美しい水道橋も建設しました。また高級綿生産の地サン・レウチョには王の離宮が建設されました。

★カゼルタ(カンパニア州) ナポリの北東31km。



④カステル・デルモンテ(デルモンテ城)

Castel del Monte (文化遺産・1996年登録)



名君として知られ、当時南イタリアも統治していた神聖ローマ帝国皇帝フリードリヒ(伊語でフェデリコ)2世がバーリ近くの高台に13世紀に建てた城です。均衡のとれた八角形構造で八角形の塔と庭があり、中世の軍事建築として大変独創的です。広野に併む堂々とした孤高な姿は壯觀。またイスラムと北方ヨーロッパゴシック的な建築様式が見事に調和をみせています。

★アンドリア郊外(ブリア州) バーリの西55km。

④マテーラの洞窟住居と岩窟教会公園

I Sassi e il parco delle Chiese rupestri di Matera (文化遺産・1993年登録)

地中海地域にみられる、谷の岩場の斜面を掘った洞窟住居サッシ群が広範囲にわたり完全な形で現存している貴重な遺跡。洞窟に作られた教会内部マテーラの洞窟に人々が住むようになったのは旧石器時代に遡るともいわれていますが、その後時代とともに家としての形が整えられ、通路や教会も築かれて人々が生活を営む街が形成されてきました。小さな洞窟住居が谷の斜面の崖にへばりつくように上下左右に並んでいる様は圧巻です。

★マテーラ(バジリカータ州) ナポリの南東255km。バーリの南67km。

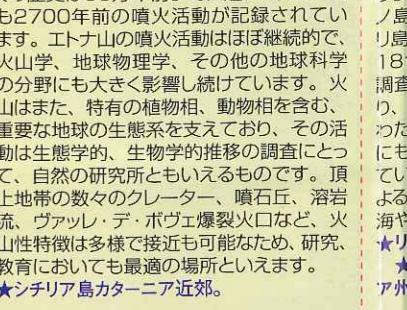


⑤エトナ山

Monte Etna (自然遺産・2013年登録)

エトナ山はシチリア島東海岸のランドマーク的場所であり、その広さは頂上の周囲1万9237ヘクタールの非居住地帯に及びます。エトナ山は地中海の島のなかでは最も高く、世界で最も活発な成層火山です。その火山噴火の歴史は50万年前までに遡り、少なくとも2700年前の噴火活動が記録されています。エトナ山の噴火活動はほぼ継続的で、火山学、地球物理学、その他の地球科学の分野にも大きく影響を及けています。

火山はまた、特有の植物相、動物相を含む、重要な地球の生態系を支えており、その活動は生態学的、生物学的推移の調査にとって、自然の研究所ともいえるものです。頂上地帯の数々のクレーター、噴石丘、溶岩流、ヴァッレ・デ・ボヴェ爆裂口など、火山性特徴は多様で接近も可能なため、研究、教育においても最適の場所といえます。



⑤ピサのドゥオモ広場

La piazza del Duomo di Pisa
(文化遺産・1987年登録)

緑あふれるドゥオーモ広場には、大聖堂ドゥオーモ、洗礼堂、「ピサの斜塔」として世界的に有名な鐘楼、そして墓地の4つの中世の建物が見事に調和して建っています。その建築美は11世紀から14世紀にかけてイタリアの建築芸術に大きな影響を及ぼしたといわれています。

★ピサ(トスカーナ州) フィレンツェの西77km。



⑥シエナ歴史地区

Centro storico di Siena
(文化遺産・1995年登録)

中世そのものの街並みが残るシエナ。当時はフィレンツエと競い、都市計画にも力をいいました。街は12～15世紀にかけて整ったゴシック風外観を保っており、同時期にシエナで活躍したドウッコ、ロレンツォ・エッティ兄弟、シモーネ・マルティニ等の芸術家の作品はイタリア国内のみならずヨーロッパ各国にも影響を及ぼしました。世界一美しいといわれる扇形をしたカンポ広場はそれ自体が芸術作品ともいわれる程で、この広場を中心とする街並みは周囲の自然とも美しい調和をみせています。また毎年7月2日と8月16日に開催されるパリオというお祭りは、シエナの重要な伝統行事となっています。

★シエナ(トスカーナ州) フィレンツェの南68km。



⑦アッシジ: 聖フランチェスコ聖堂と関連遺跡群

Assisi, la Basilica di San Francesco e altri siti francescani (文化遺産・2000年登録)

アッシジは聖フランチェスコゆかりのキリスト教信者の巡礼地。荘厳なる聖フランチェスコ聖堂内部を飾る巨匠ジョット、チマブーエ、マルティーニ、コレントツエッティラのフレスコ画の数々は中世美術史上でも重要。古代ローマ時代からの歴史あるこの街は、ウンブリアの美しい自然と、聖人が説いた平和の教え、そして後世の建築・美術の基礎ともなった宗教建築物群などが一体化した精神的・芸術的な美しさを秘めた場所です。

★アッシジ(ウンブリア州) ローマの北東177km、ペルージャの南東23km。

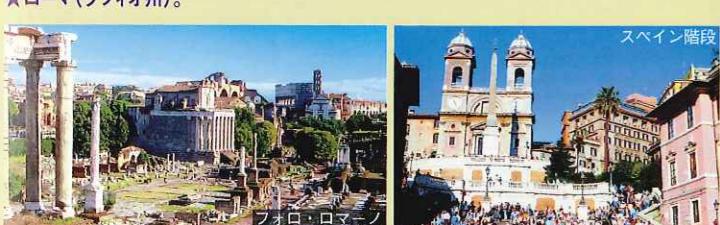


⑧ローマ歴史地区・教皇領とサン・バオロ・フォーリ・レ・ムーラ大聖堂 ***

Centro storico di Roma, le proprietà extraterritoriali della Santa Sede nella città e San Paolo fuori le Mura
(文化遺産・1980、1990年登録)

紀元前753年に建国されたと伝えられるローマは共和国を経て巨大な帝国へと発展し、4世紀にはキリスト教世界の中心地となりました。世界遺産への登録は1980年に続いて1990年にも登録箇所が追加されました。歴史地区にはコロッセオ、フォロ・ロマーノ、カラカラ浴場、ドムス・アウレア、パンテオノ、アウグストゥス帝廟他おびただしい数の古代遺跡や記念碑が残っており、「永遠の都」のその圧倒的な栄華繁栄ぶりを今に感じることができます。

★ローマ(ラツィオ州)。



⑨ヴァティカン市国*

La Città del Vaticano (文化遺産・1984年登録)

ローマ市内的一角にありますが、ヴァティカン市国は1929年より独立国家となっています。ローマ法王庭のあるキリスト教の聖地、カトリックの総本山であり、その小さな領土内には芸術・建築の最高傑作の数々が集まっています。市内の表記とともにいえるサン・ピエトロ広場をはじめ、サン・ピエトロ大聖堂はルネッサンス期の巨匠ブラマンテ、ラファエロ、ミケランジェロらの芸術作品が結集した世界最大の宗教建築物です。ヴァティカン博物館内ではシスティーナ礼拝堂のミケランジェロの壁画、天井画をはじめ、歴代の法王による膨大な芸術コレクションを鑑賞できます。

★ヴァティカン市国(位置的にはローマ市内)。



⑩イタリアのロンゴバルド族: 権勢の足跡(568-774年)

北イタリアで紹介している同登録の7か所の文化財のうち、下記2カ所は中部イタリアのウンブリア州にあります。(詳細は北イタリアの頁参照)

★「クリトゥンのテンピエット」 小さな建物ながら古典的な様式で有名です。

所在地: カンペッロ・スル・クリトゥンノ / ペルージャの南西53km、スポレートの北11km。

★「スル・カルダーネ・ローマ」 ロンゴバルド建築の代表例のひとつ。

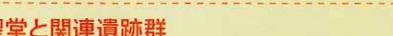
所在地: スポレート / ペルージャの南東63km。

⑪シエナ歴史地区

Centro storico di Siena
(文化遺産・1995年登録)

中世そのものの街並みが残るシエナ。当時はフィレンツエと競い、都市計画にも力をいいました。街は12～15世紀にかけて整ったゴシック風外観を保っており、同時期にシエナで活躍したドウッコ、ロレンツォ・エッティ兄弟、シモーネ・マルティニ等の芸術家の作品はイタリア国内のみならずヨーロッパ各国にも影響を及ぼしました。世界一美しいといわれる扇形をしたカンポ広場はそれ自体が芸術作品ともいわれる程で、この広場を中心とする街並みは周囲の自然とも美しい調和をみせています。また毎年7月2日と8月16日に開催されるパリオというお祭りは、シエナの重要な伝統行事となっています。

★シエナ(トスカーナ州) フィレンツェの南68km。



南イタリア

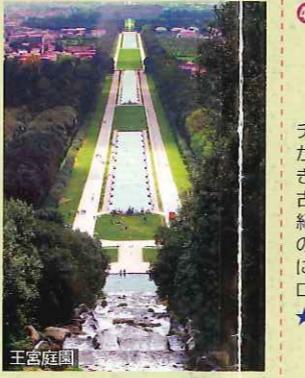


⑫カゼルタの18世紀の王宮と公園、ヴァンヴィテッリの水道橋とサン・レウチョ邸宅群

Il Palazzo Reale del XVIII secolo di Caserta con il Parco, l'Acquedotto Vanvitelliano ed il Complesso di San Leucio
(文化遺産・1997年登録)

18世紀当時のナポリ王、ブルボン家のカルロ3世がベルサイユを凌ぐ宮殿をめざしてカゼルタに建設した王宮は、劇場、礼拝堂、博物館、1200もの部屋がある巨大で壯麗な建物。また120ヘクタールの庭園は、中央をまっすぐ走る3kmの道、滝、ギリシャ神話の影刻噴水群を配し、周囲の森林とあいまって華麗で洗練された芸術作品のようです。建築家ヴァンヴィテッリは庭園の水を供給するため、古代ローマ風の美しい水道橋も建設しました。また高級綿生産の地サン・レウチョには王の離宮が建設されました。

★カゼルタ(カンパニア州) ナポリの北東31km。



⑬カステル・デルモンテ(デルモンテ城)

Castel del Monte (文化遺産・1996年登録)



名君として知られ、当時南イタリアも統治していた神聖ローマ帝国皇帝フリードリヒ(伊語でフェデリコ)2世がバーリ近くの高台に13世紀に建てた城です。均衡のとれた八角形構造で八角形の塔と庭があり、中世の軍事建築として大変獨創的です。広野に併む堂々とした孤高な姿は壯觀。またイスラムと北方ヨーロッパゴシック的な建築様式が見事に調和をみせています。

★アンドリア郊外(ブリア州) バーリの西55km。

⑭マテーラの洞窟住居と岩窟教会公園

I Sassi e il parco delle Chiese rupestri di Matera (文化遺産・1993年登録)



地中海地域にみられる、谷の岩場の斜面を掘った洞窟住居サッシ群が広範囲にわたり完全な形で現存している貴重な遺跡。洞窟に作られた教会内部マテーラの洞窟に人々が住むようになったのは旧石器時代に遡るともいわれています。その後時代とともに家としての形が整えられ、通路や教会も築かれて人々が生活を営む街が形成されてきました。小さな洞窟住居が谷の斜面の崖にへばりつくように上下左右に並んでいる様は圧巻です。

★マテーラ(バジリカータ州) ナポリの南東255km。バーリの南67km。

⑮ナポリ歴史地区

Centro storico di Napoli (文化遺産・1995年登録)

紀元前470年にギリシャ植民地として誕生してから今日まで、ナポリは次々にこの地を支配したヨーロッパ・地中海地域の様々な文化を吸収してきました。その素晴らしい歴史の跡は古代ローマ時代、中世、そして18世紀と続き、ヌオーヴォ城や、卵城、サンタ・キアラ教会、王宮、プレビシート広場などナポリの中心部に多く残っています。

★ナポリ市内(カンパニア州) ローマの南219km。



⑯ポンペイ、エルコラーノ、トッレ・アヌンツィアータの遺跡地域

Aree archeologiche di Pompei, Ercolano e Torre Annunziata (文化遺産・1997年登録)

79年8月24日のヴェスヴィオ火山噴火により、豊かな古代ローマ都市ポンペイやエルコラーノ、その他山麓の街々が灰と溶岩の下に埋没しました。

18世紀になって発掘が進められ、裕福な商業都市ポンペイの広大な遺跡や、小規模ながら保存状態も良いリゾート地エルコラーノ遺跡、そしてトッレ・アヌンツィアータのオプロンティス柱遺跡の見事な壁画等からは、古代ローマ時代の人々の贅沢で充実した市民生活の様子がはっきりとみてれます。

★ポンペイ(ナポリの南東29km) ★エルコラーノ(ナポリの南東11km) ★トッレ・アヌンツィアータ(ナポリの南東27km)(カンパニア州)



⑰アマルフィ海岸

Costiera Amalfitana (文化遺産・1997年登録)

海沿いに断崖絶壁が続くこの一帯は、海岸線が変化に富み素晴らしい美しさをみせています。中世初期から人々が定住を始め、中世の海洋共和国として栄えたアマルフィやラヴェッコなどの街では秀逸な建築物や芸術作品も創りだされました。険しい岩壁の続く地形を、人々はブドウやレモンの段々畠、果樹園、放牧地など様々に活用し、紺碧の海とあいまって地中海的でドラマチックな独自の美しい自然景観を楽しむことができます。

★アマルフィ(ナポリの南東70km)の町を含む海岸一帯(カンパニア州)。

ポジターノの街



⑱アルベロベッロのトルレッリ

I Trulli di Alberobello (文化遺産・1996年登録)

トルレッリとは白い漆喰塗りの壁に円錐形のとんがり屋根が特徴的な、この地方のみでみられる一風変わった建物。モルタルなど接合剤を使わない先史時代から伝わる建築方法で造られた建物が現在も生活に使用されています。アルベロベッロの旧市街にはトルレッリの家々が密集し、坂道が迷路のように続いており、おとぎの国のような雰囲気に満ちています。

★アルベロベッロ(ブリア州) バーリの南55km。



⑲ヴァル・ディ・ノートの後期バロック様式の町々(シチリア島南東部)

Città barocche della Val di Noto (文化遺産・2002年登録)

シチリア島南東部にある、ヴァル・ディ・ノート(ノート渓谷)とよばれるエリア周辺の8つの街々は、1693年にエトナ山周辺地域をおそった大地震による全壊から、都市計画による驚異的復興再建を実現し、見事な後期バロック様式の建築・芸術を街に花咲かせました。今もそれぞの街には美しい装飾を施したバロック様式の建築が多く残っています。ノート渓谷には美しい装飾を施したバロック様式の建築が多く残っています。パンタリカは原始時代のシチリアの重要な地のひとつであり、周辺一帯の地域の中心として栄えました。

★ビアッサ・アルメリーナ(シチリア州) カターニアの南西約90km。

ノート

★ラグーザ ★カターニア ★カルタジローネ ★ミリテッロ・イン・ヴァル・ディ・カターニア、★モディカ ★バラツィオ・アクレイデ ★シクリ(シチリア州)。

ラグーザ

カターニア

カルタジローネ

ミリテッロ・イン・ヴァル・ディ・カターニア

モディカ

バラツィオ・アクレイデ

シクリ

シチリア州)

⑳ヴァル・ディ・ノートの後期バロック様式の町々(シチリア島南東部)

Città barocche della Val di Noto (文化遺産・2002年登録)

シチリア島南東部にある、ヴァル・ディ・ノート(ノート渓谷)とよばれるエリア周辺の8つの街々は、1693年にエトナ山周辺地域をおそった大地震による全壊から、都市計画による驚異的復興再建を実現し、見事な後期バロック様式の建築・芸術を街に花咲かせました。今もそれぞの街には美しい装飾を施したバロック様式の建築が多く残っています。

★ビアッサ・アルメリーナ(シチリア州) カターニアの南西約90km。

ノート

★ラグーザ ★カターニア ★カルタジローネ ★ミリテッロ・イン・ヴァル・ディ・カターニア、★モディカ ★バラツィオ・アクレイデ ★シクリ(シチリア州)。

ラグーザ

カターニア

カルタジローネ

ミリテッロ・イン・ヴァル・ディ・カターニア

モディカ

バラツィオ・アクレイデ

シクリ(シチリア州)。

㉑イタリアのロンゴバルド族: 権勢の足跡(568-774年)

北イタリアで紹介している同登録の7か所の文化財のうち、下記2カ所は中部イタリアにあります。(詳細は北イタリアの頁参照)

★サンタ・ソフィア教会

ロンゴバルド族統治の7世紀から、大天使ミカエル崇拝の重要な拠点として深く影響を及ぼし、ヨーロッパ各地に建設された有名なモン・サン・ミッシェルを初めとする何百ものミカエル聖堂のモデルかもしれません。

所在地: モンテ・サンタンジェロ(ブリア州) フォッジアの北東59km、バーリの北西135km。

★サン・ミケーレ聖堂記念堂

ロンゴバルド族統治の7世紀から、大天使ミカエル崇拝の重要な拠点として深く影響を及